

ゴゼンタチバナ ミズキ科

Crotalaria sessiliflora L.

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省： -

選定理由 生育環境悪化，局限・孤立，分布限界，遺存性，希少性。

生態・形態 亜寒帯針葉樹林内に生育する小形の多年生草本。県内では三国山の尾根平坦部の林床に小群生して残存。遺存植物。根茎は匍匐，茎は直立，高さ5～10cm。葉は茎頂に1対，葉腋に2対対生し6枚が輪生状，倒卵形，鋭先頭，全縁，平行状脈が顕著。花は6～7月，白色，十字形花を茎頂に1個，苞が花弁状となる。本来の花弁は多数，雄しべ状。果実は赤熟。和名は発見地の白山御前峰に由来。

分布 本州中部以北，四国。

(県内) 三国山。

保護上の留意点 嚴重な採取防止。チシマザサの進入により絶滅寸前。緊急にチシマザサの除去による保全管理が必要。

